

学生ボランティアの派遣

通学合宿



平成 27 年度も、佐倉市教育委員会、八街市教育委員会の委託を受け、通学合宿のサポート役として本学の学生が参加しました。

日 時	主 催 者	会 場	対象小学校	参加学生数
6 月 7 日～10 日 (3 泊 4 日)	八街市教育委員会	千葉黎明高校合宿所	実住小学校 朝陽小学校	男子 3 名 女子 4 名
9 月 27 日～30 日 (3 泊 4 日)	佐倉市中央公民館	佐倉高校セミナーハウス	佐倉東小学校	男子 3 名 女子 3 名
9 月 27 日～10 月 2 日 (5 泊 6 日)	佐倉市教育委員会	佐倉市青少年センター	内郷小学校	男子 3 名 女子 3 名
10 月 4 日～7 日 (3 泊 4 日)	八街市教育委員会	千葉黎明高校合宿所	八街東小学校 八街北小学校	男子 3 名 女子 4 名

小学校の運動会補助



2015 年 5 月 30 日（日）には、佐倉市立弥富小学校、佐倉市立寺崎小学校の運動会が開催され、本学の学生が用具係などのお手伝いをしました。行事の運営を目の当たりにして体験的な理解を深めることができ、学生にとってもたいへん有意義なものになりました。

トーク大会への参加

2016 年 2 月 20 日（土）、志津地区青少年育成会議が主催する「第 20 回トーク大会」に、4 名の学生が参加しました。うち 2 名はパネリストとして登壇し、子どものころからの夢を叶えるためにどんな生き方をしてきたのか、だれからどんなサポートがあったのか、大事なことは何かなど、自己の体験からの発表をしました。

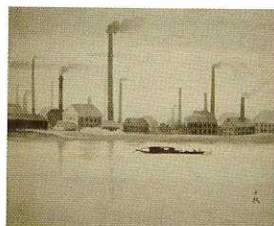


地域との連携

「コミュニティカレッジさくら」への講師派遣

3 年目を迎えた佐倉市民のための学びの場に、のべ 12 名の教員が講師として参加しました。第 1 学年の基礎講座の中で、各教員が専門性を活かし、コミュニケーションの取り方、地域のリーダーとしてのあり方、子どもたちの抱える課題、人権など、幅広く「人間学」を学ぶお手伝いをしました。

佐倉市立美術館との連携



芝千秋の作品より
（佐倉市立美術館所蔵）

本学教員が、佐倉市立美術館の学芸員の方と連携し、所蔵する作品を用いた授業の実践を行いました。学芸員の方と話し合って芝千秋の作品の中から 30 点を選定し、文章表現法の授業の中の鑑賞文を書く学習で用いました。本物の一点しかない絵画作品を学生は手でじっくり観察できるという極めて貴重な体験をすることができ、豊かな鑑賞文を書くことにつながりました。さらに、この授業は、美術館の所蔵する作品を活用した授業の一例として市内の学校に紹介されています。

総合子ども学研究所 ニュースレター 第 4 号

本研究所は、「子ども」を様々な視点から、学問的・実践的見地に基づいて研究し、本学の教育の充実発展を図ると共に、地域の教育・保育に寄与することを目的として設置されました。

発行日：2016 年 4 月 30 日
http://www.chibakeiai.ac.jp
〒285-8567 千葉県佐倉市山王 1-9
TEL. 043-486-7111（代表）



夏休み子ども向け公開講座 10 周年！

佐倉市の「市民公開講座事業」の一環として本学が委嘱を受けて実施している「夏休み子ども向け公開講座」が、平成 27 年に 10 周年を迎えました。これまでの 10 年間で、のべ 53 講座に 1,127 名の小学生が参加してくれました。

これからもますますパワーアップし、地域の子どものための知的好奇心を刺激できるような講座を開催していきたいと思っています。

夏休み子ども向け公開講座のあゆみ

2006 年度	6 日間 6 講座実施（112 名参加） 「空気の動き・鏡の性質」 「様々な歌の表現方法について」 「新体操競技に挑戦」など	2007 年度	5 日間 5 講座実施（132 名参加） 「紙飛行機について科学的な理解を深める」 「ポスターや風景画等の制作」など
2008 年度	5 日間 5 講座実施（81 名参加） 「イメージした花や動物をカラフルにキャンパスに描く」 「読書感想文の書き方」など	2009 年度	5 日間 5 講座実施（120 名参加） 「牛乳パックとペットボトルで万華鏡を作ろう」 「いろいろな楽器で遊ぼう」など
2008 年度	5 日間 5 講座実施（107 名参加） 「楽しく始めるジュニア・イングリッシュ！」 「ハンドベルで演奏してみよう」など	2011 年度	5 日間 5 講座実施（126 名参加） 「みんなで筆をひいてみよう」「読書感想文をまとめよう」「楽しい理科実験」など
2012 年度	5 日間 5 講座実施（100 名参加） 「楽しい科学実験」 「夏休みの課題(ポスターや風景画等)の制作」 「英語であそぼ」など	2013 年度	4 日間 5 講座実施（103 名参加） 「手作り楽器作って遊ぼう・音あそびするものこの指と〜まれ」 「楽しい理科実験」など
2014 年度	4 日間 6 講座実施（119 名参加） 「夏休みの課題(ポスターや風景画等)の制作」 「読書感想文を書こう」など	2015 年度	4 日間 6 講座実施（127 名参加） 「みんなで筆をひいてみよう」 「手作り楽器つくってあ・そ・ぼ」 「たのしい科学実験」など





2015 年度 夏休み子ども向け公開講座

2015 年度は 8 月 17 日から 20 日にかけての 4 日間に 6 講座を開催し、佐倉市内の小学校に通う 3 年生から 6 年生までの 127 名が参加してくれました。

今回は千葉県立千葉女子高等学校の教員基礎コースに在籍する高校 1、2 年生 15 名にジュニアスタッフとしてお手伝い

いただきました。本学の学生アシスタントとともに、参加する子どもたちに明るく声をかけたり、一緒に課題に取り組んだりと活躍していただきました。

学生アシスタント、ジュニアスタッフ（高校生）、担当教員からの一言を添え、各講座の様子を写真でご紹介いたします。

「楽しい科学実験」

理論などは、難しそうな顔で聞いている子が多く見られましたが、実験になるととても積極的に楽しそうにしていました。新しい発見をすると子どもたちはとても楽しそうで、私もうれしくなりました。うまく進行できない部分もあり、前もっての準備が大切であると思いました。（学生アシスタント）



理科



「みんなで箏を弾いてみよう」



音楽 I

はじめてお箏を触った子どもたちばかりでしたが、真剣にあきらめず取り組む姿が見られ、その集中力に驚きました。お箏の演奏だけでなく、お箏の歴史なども知ることができ良かったと思います。最後には 2 曲、上手に演奏することができました。（学生アシスタント）

「英語であそぼう」

最初は緊張していましたが、初対面の子にも積極的に話しかけて仲良くなっていきました。フルーツバスケットや劇をとっても楽しんでいましたし、積極的に英語を学ぼうとしている子が多く、読み方をカタカナで書いて一生懸命読んでいる姿も見られました。（ジュニアスタッフ）



英語

「読書感想文を書きましょう」

国語

違う小学校に通う同じ学年の者同士をペアにし、お互いが持参した本について質問しあった後、感想文についての全体指導を行いました。「感想」や「感想文」についての認識を深め、読書感想文に欠かせない要素や、書くときの手順・留意点などを話しました。参加した子どもたちは今回の学習を通して、こうすれば書けるんだという手応えをつかめたのではないかと考えます。（担当教員）



「手作り楽器 作ってあそぼう」



音楽 II

学校という場を離れて学習する子どもの姿を見ることができ、とても勉強になりました。今後またこういう機会があれば、参加した子ども同士をもっと仲良くさせられるように関わりたいです。（ジュニアスタッフ）

「夏休みの課題（ポスターや風景画等）の製作」

はじめての参加だったのですが、子どもたちはそれぞれテーマを決めて取り組んでいました。書きはじめに少し戸惑う子もいて、「どれくらいの大きさでかくのか」「どこにかきたいのか」など具体的に聞くことで描きやすめられるようになりました。子どもたちの絵を見ることができ、とても良かったです。（学生アシスタント）



図画工作



「現代子ども学公開講座」の開催

本学学生・教職員が地域の皆様や幼稚園・保育所の先生方と、子どもについての学びを共有し、交流させていただく貴重な機会となることを願い、年に 2 回開催しています。

第 12 回公開講座 2015 年 5 月 12 日（火）



「隣の人～子どもにとっての揺るぎない誰かであるということ～」

講師：菅原 哲男先生（児童養護施設「光の子どもの家」理事長）

ドキュメンタリー映画「隣の人」の自主上映会を行った後、講演では子どもと喜びや不安を共有し傍らに居続ける「隣の人」の存在の意味を、具体的な実践の場面に触れながらお話しいただきました。

学生の感想（一部抜粋）

あなたと出会えてよかった」この言葉にどれだけの人が救われたのだろうかと、心があつくなりました。光の子たちのように自分の存在意義が揺れている子どもたちや大人は、気持ちを表出していないだけで、きっと多くいると思います。その中で、周囲から自分と出会えたことで幸せになってくれる人がいるのだと気付かされることは、自分の生きるエネルギーを十分に満たすものになるだろうと感じました。

一般参会者の感想（一部抜粋）

今日は、今自分がここにいて、生きていることの重さすばらしさを感じ、心の中で色々なことに向けてありがとうと言うことができました。素直な気持ち、人を愛することをほこりに持ち、これからも子ども達と向きあっていきます。

第 13 回公開講座 2015 年 12 月 1 日（火）



「思春期を迎えた子どもたちが人生を引き受けるということ～『千と千尋の神隠し』を読み解きながら～」

講師：光元 和憲先生（ちば心理教育研究所所長、NPO 法人虐待から子どもを守る支援ネットワークちば代表）

学生は予め『千と千尋の神隠し』の DVD を視聴して講演に臨みました。講演ではアニメの主人公千尋の行動や言動をたどり、宮崎駿監督が作品にこめた子どもたちへのメッセージ（社会で生きていくうえで身につけておかななくてはならないこと）を読み解いていただきました。

学生の感想（一部抜粋）

ひとつの映画作品からこんなにも学ぶことができるのかと、びっくりしました。一言一言に意味があって、とても深いなと思いました。千尋の母の冷たい反応は、千尋に無関心で冷たい人物だからなんだろうと思っていました。「無自覚の甘え」というとらえ方には、納得できました。千尋が迷いこんでしまった世界の人達は、とにかく「助け」と言います。これは「働いて人と関わりをもって生きていく」という必然的な生き方をしなければこの世では生きていけないという意味があると思いました。

一般参会者の感想（一部抜粋）

自分の子どもが思春期中ごろにさしかかっているので、子どもの自立について考えさせられました。自分は無条件に子どもを愛しているか？子どもの気持ちを察してあげる余裕を持っていけないと…と反省もしたり。振り返るきっかけになりました。

2016 年度の公開講座

第 14 回公開講座



「子ども虐待」を見逃さないために～医学的な見方・対応方法を中心に～」

日時：2016 年 5 月 10 日（火）16:40～18:00

講師：仙田昌義先生

（国保旭中央病院 小児科部長、日本子ども虐待医学会 専門的医療者育成委員会 委員長）

第 15 回公開講座

日時：2016 年 12 月 6 日（火）16:40～18:00

講師：河邊貴子先生

（聖心女子大学教授）